

漢字部

多田 徑雪

今月は師範の部において個性ある優秀作品が多くあり全作品を掲載できないのが残念です。また、五〜六段の出品が増え大変嬉しく来年への期待が膨らみます。六文字課題の出品も多くありましたが、紙面一杯に書かれたものが結構ありました。「余白の美」「白と黒の調和」を大切に創作にのぞまれることを願っております。たくさんさんの作品を拝見でき楽しい三ヶ月間でした。ありがとうございました。

漢字部 条幅課題

A 嘉樹生朝陽 凝霜封其條

執心守時信 歲寒不敢凋

(陸機)

・嘉樹<sup>きこ</sup> 朝陽<sup>あさひ</sup>に生じ 凝霜<sup>ねいじょう</sup> 其の條<sup>そのじょう</sup>を封ず

心<sup>こころ</sup>を執<sup>と</sup>りて時<sup>とき</sup>信<sup>しん</sup>を守り

歳寒<sup>さいかん</sup> 敢て凋<sup>しう</sup>まず

・りっぱな常緑の木が朝日をあびるところに生えているが霜がその枝をすっかり封じこめた

しかしこの木は心をしつかりと持って信を守っているから寒い季節にも凋みはしない

B 天地無私春又歸

・天地<sup>てんち</sup>私<sup>わたし</sup>なく 春<sup>はる</sup>また帰<sup>かえ</sup>る

・天地陰陽の気は公平無私で 春は時を過ぎずにまためぐってきた

(しめきり)……………一月十七日)

◎条幅出品券を作品の右下へ必ず貼付すること。

なお、作品の裏右下に段位、氏名を忘れず記入のこと。

※出品資格…五段以上。A・Bの両方同時に出品可。

※二点出品の場合、出品券の下部にA・Bを明記のこと。

(選評)

師範・準師範の部

珠房君 哀愁を感じる「葉」の横にのびた線が効果大。

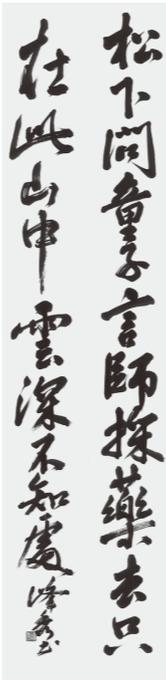
綾香君 長脚の字形を生かし流れをつくった。二行の呼応は見事。

真里君 整齐とされた静かな隷書作品。字は少し小さくて可。

倩蘭君 墨量豊か。一直線に書き進む姿勢が伝わり気持ちの良い作。

正覚君 淡々と書かれているが、構成は手慣れたもの。

(助教以下の部)



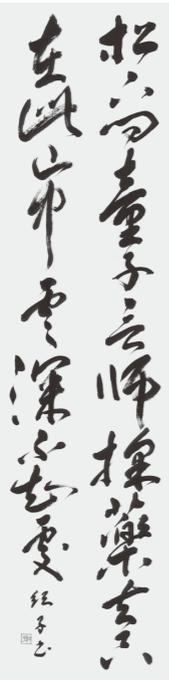
しっかりとした線で力強くまとめた。



字間、行間の取り方が非常に上手。作品を大きくみせている。



流暢な筆遣いに適度なスピードが加わり動きある作品になった。



重心が下にきたが伸びやかに書かれ好感がもてる。



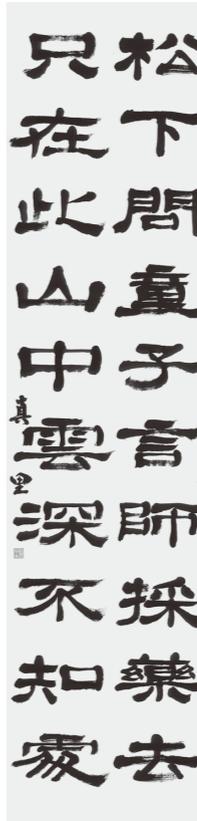
力強く書けている。次はかすれを入れて。先が楽しみな方。



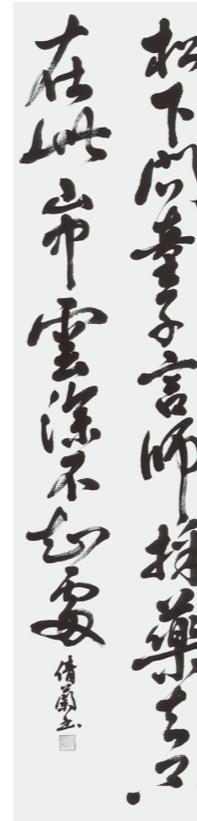
珠房 啓



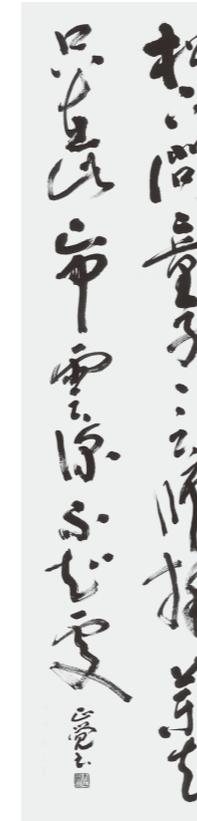
綾香 啓



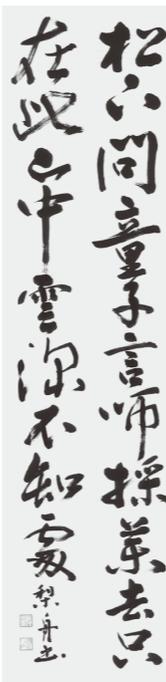
真里 啓



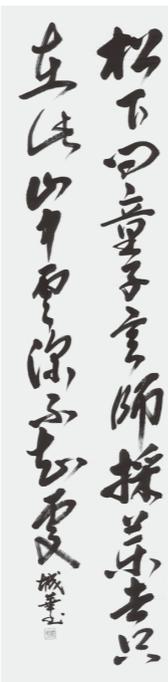
倩蘭 啓



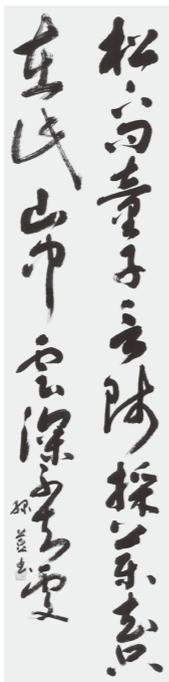
正覚 啓



方形の文字に字幅をおさめ煩雑な構成にならない様に工夫した。



墨量の塩梅がよい。全体にうまくまとめた。



一生懸命さが伝わる作。考えて書かれた跡が窺える。



バランスよく伸びやかな線で書かれ、余白もいかされた佳作。



もう少し慎重さが欲しいが、線のつよさがあった。